令和８年度

長崎大学大学院総合生産科学研究科

博士後期課程　総合生産科学専攻

学生募集要項

令和８年４月入学・進学

一般入試・社会人入試・外国人留学生入試・進学者選考

（夏期募集・秋期募集・冬期募集）

令和７年４月

長崎大学大学院総合生産科学研究科

〒852－8521　長崎市文教町１番14号

TEL（095）819－2491（直通）

博士後期課程

令和８年４月入学

（夏期募集・秋期募集・冬期募集）

一　　般　　入　　試

社　　会　　人　　入　　試

外 国 人 留 学 生 入 試

1. 募集人員

専　攻	入試区分	コース／分野	募集人員		
			夏期募集	秋期募集	冬期募集
総合生産科学専攻	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	共生システム科学コース／環境海洋資源学分野	20 人	13 人	10 人
		共生システム科学コース／化学・物質科学分野			
		共生システム科学コース／工学・情報データ科学分野			
		海洋未来科学コース			
		水環境科学コース			

（注）上記募集人員には，進学者選考の募集人員を含む。
（注）募集合格者数の合計人数が募集人員に満たなかった場合は，その満たなかった人員を次期募集に加えて選抜する。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

なお，社会人入試については，出願時において企業等に正規職員（役員を含む）として勤務し，所属長等の許可を受けた者で，次の各号のいずれかに該当するもの。

また，外国人留学生入試については，日本国籍を有しない者で，次の各号のいずれかに該当するもの。（ただし，(1) 日本国永住許可を得ている者，および (2) 日本の大学を卒業し，かつ日本の大学院を修了する者は除く）

(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和８年３月までに取得見込の者
(2) 外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和８年３月までに授与される見込の者
(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に令和８年３月までに授与される見込の者
(4) 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和８年３月までに授与される見込の者
(5) 国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和８年３月までに授与される見込の者
(6) 外国の学校，(4) の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，大学院設置基準第16条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者又は令和８年３月までに合格が見込まれる者で，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（**「3. 出願資格審査」参照**）
(7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

① 大学を卒業し，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの（**「3. 出願資格審査」参照**）

②外国において学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの（**「3. 出願資格審査」参照**）

(8) 本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達したもの又は令和８年３月31日までに24歳に達するもの（**「3. 出願資格審査」参照**）

3. 出願資格審査

(1) 出願資格(6)，(7)又は(8)で出願する者については，事前に出願資格を審査する必要があるため，以下の書類を下記期日までに，長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係へ提出すること。

○ 夏期募集 ： 令和7年 5月 9日（金）
○ 秋期募集 ： 令和7年 8月 8日（金）
○ 冬期募集 ： 令和7年11月20日（木）

提出書類	備考
入学試験出願資格認定申請書〔様式5〕	本研究科所定の様式
入学願書〔様式1〕	本研究科所定の様式
卒業（見込）証明書	出身（所属）学校が作成したもの（卒業証書の写しは不可）
成績証明書/成績評価基準表	最終の出身（所属）学校が作成したもの 成績評価基準表の記載が無いものは、別途、成績評価基準が掲載された書類も必ず提出すること。
研究業績調書〔様式6〕	本研究科所定の様式に，学位論文，研究発表，研究報告，学会発表等の名称，発表日等を記入すること。（業績を有する者のみ）
研究（業務）経過報告書〔様式7〕	本研究科所定の様式に，「研究業績調書〔様式6〕」に記載した業績について詳述し，その根拠となる資料（論文の別刷等）も添付して 提出すること。
合格（見込み）証明書 （出願資格(6)該当者のみ）	博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格又は合格が見込まれる者で，出願資格(6)により出願する者は，最終の出身大学等の学長，学部長（大学以外は出身学校長）が作成した合格（見込み）証明書を提出すること。
出願資格審査結果返送用封筒 （日本在住者のみ）	志願者の郵便番号，住所，氏名を明記し，速達便の410円分の切手を貼付すること。〔長形3号（12㎝×23.5㎝）〕
在留資格を証明するもの（写） （外国人志願者のみ）	パスポートの氏名のページの写しを提出してください。 すでに来日している場合は，在留カードまたはパスポートの査証欄のコピーも提出すること。合格後に来日する場合は，在留カードまたはパスポート査証欄の写しを来日後に提出すること
その他	日本語又は英語以外の言語で記載されている書類には，日本語又は英語の翻訳文を添付すること。

※ 本研究科所定の様式は，長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページからダウンロードすること。
「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「募集要項」
(URL：https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/boshuyoukou)

(2) 原則として，提出された書類により出願資格審査を行う。
出願資格審査の結果については，出願期間前に本人宛に発送する。なお，出願資格有と認定された者は，「4. 出願期間」及び「5. 出願手続」により手続きを行うこと。

4. 出願期間

○ 夏期募集 ： 令和7年 6月 2 日（月）から令和7年 6 月 6 日（金）まで
○ 秋期募集 ： 令和7年 9月16日（火）から令和7年 9 月22日（月）まで
○ 冬期募集 ： 令和7年 12月18日（木）から令和7年12月24日（水）まで

(1) 郵送する場合は必ず書留速達とし，所定の期日までに必着のこと。
外国人留学生入試を受験する者は，申請書類は電子データを事前に下記メールアドレスに送付した上で，原本(紙ベース)を，期限までに到着するように提出のこと。ただし，出願書類の電子データを期限までに送信している場合は，原本が期限内に到着していなくても，出願は有効と見做す。書類確認のための事前のメール送信は，出願期間前でも受け付ける。ただし，入学試験の受験資格を得るためには電子データのみでは不十分であり，必ず紙ベースで原本を提出すること。

【メールアドレス】seisan_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp
【郵送先】 〒852－8521 長崎市文教町1番14号
長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係

(2) 出願書類等を持参する場合は，9:00から17:00まで受け付ける。（土，日，祝日を除く）

5. 出願手続

志願者は，以下の手続書類等を，所定の期日までに長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係へ提出すること。申請の前までに指導教員を選び研究内容について相談しておくこと。

本研究科所定の様式は，長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページからダウンロードすること。
「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「募集要項」
（アドレス：https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/boshuyoukou）

手続書類等	備考
入学願書〔様式 1〕	本研究科所定の様式 ※　予め主たる指導を希望する教員（「教員・研究内容一覧」参照）と面談を行ったうえ，入学願書に指導予定教員名を記入すること。 ただし，出願資格審査時に提出した者は不要
写真票・受験票・検定料納付証明書貼付票〔様式 2〕	本研究科所定の写真票及び受験票に，出願前 3 ヶ月以内に撮影した写真（正面・上半身無帽　縦 4 ㎝×横 3 ㎝）を貼付すること。
卒業証明書または修了（見込）証明書（最終学歴のもの）	出身（所属）大学が作成したもの。卒業証書の写しは不可。 （出願資格審査時に提出した場合は不要）
成績証明書/成績評価基準表（最終学歴のもの）	出身（所属）大学が作成したもの。成績評価基準表の記載が無いものは、別途、成績評価基準が掲載された書類も必ず提出すること。 （出願資格審査時に提出した場合は不要）
研究業績調書〔様式 6〕	本研究科所定の様式に，学位論文，研究発表，研究報告，学会発表等の名称，発表日等を記入すること。（業績を有する者のみ）（出願資格審査時に提出した場合は不要）
研究（業務）経過報告書〔様式 7〕	本研究科所定の様式に，「研究業績調書〔様式 6〕」に記載した業績について詳述し，その根拠となる資料（論文の別刷等）も添付して 提出すること。 （出願資格審査時に提出した場合は不要）
学位論文要旨〔様式 8〕	本研究科所定の様式に，修士論文要旨を 2,000 字以内で記述すること。 ただし，修士の学位を有しない者は不要
研究計画の概要〔様式 9〕	本研究科所定の様式に，指導予定教員と相談のうえ，研究（希望）計画の概要を記入すること。
受験・就学承諾書〔様式 10〕	出願時において，在職中の者は，本研究科所定の様式にて機関の長の承諾書を提出すること。
受験票返送用封筒 （日本在住者のみ）	志願者の郵便番号，住所，氏名を明記し，速達便の 410 円分の切手を貼付すること。 〔長形 3 号（12㎝×23.5㎝）〕
在留資格を証明するもの（写）（外国人志願者のみ）	パスポートの氏名のページの写しを提出してください。 すでに来日している場合は，在留カードまたはパスポートの査証欄のコピーも提出すること。 合格後に来日する場合は，在留カードまたはパスポート査証欄の写しを来日後に提出すること
住所登録（受験票などの送付に使用）	「総合生産科学研究科ホームページ」 →　「入試情報」 →　「募集要項」のフォームから，入力すること。（書類の提出は不要） 《 入力受付期間 》 ○　夏期募集 ：　令和 7 年 5 月 26 日（月）から令和 7 年 6 月 6 日（金）まで ○　秋期募集 ：　令和 7 年 9 月 9 日（火）から令和 7 年 9 月 22 日（月）まで ○　冬期募集 ：　令和 7 年 12 月 11 日（木）から令和 7 年 12 月 24 日（水）まで

検定料（30,000 円）	**《 振込期間 》** ○ 夏期募集 ： 令和7年 5 月26日（月）から令和7年 6 月 6 日（金）まで ○ 秋期募集 ： 令和7年 9 月 9 日（火）から令和7年 9 月22日（月）まで ○ 冬期募集 ： 令和7年12月11日（木）から令和7年12月24日（水）まで E-支払いサイト（https://e-shiharai.net/）（英語版 https://e-shiharai.net/ecard/）にアクセスのうえ，①コンビニエンスストア ②ペイジー（金融機関ＡＴＭ決済） ③ペイジー（ネットバンク決済）・ネットバンキング ④クレジットカード のいずれかで支払うこと。（振込時に別途必要な振込手数料は振込者の負担となる。振込手数料は支払方法で違うので申込画面で確認のこと） ※ E-支払いサービス（英語版）では，④クレジットカード払いのみ選択できる。 **《 支払い別の貼付書類について》** E-支払サービスで選択した支払方法毎に，次の書類を検定料納付証明書貼付票に貼付すること。 ①コンビニエンスストア支払の場合 支払い後，コンビニエンスストアで受領した「取扱明細書（取扱明細書兼受領書）」の点線枠の「収納証明書」部分を切り取り貼付して提出 ②ペイジー（金融機関ＡＴＭ決済）支払の場合 支払後，出力される「ご利用明細票」 を貼付して提出 ③ペイジー（ネットバンク決済）・ネットバンキング および④クレジットカードの場合 支払後，E-支払いサイトにアクセスし，受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し，「照会結果」を印刷し所定の様式に添えて提出 ※ E-支払いサービスにおける手順等に関する質問は，同サービス「利用ガイド」や「よくある質問」を確認し，不明な点があれば E-サービスサポートセンターへ問い合わせること。 ※ 上記いずれの方法も利用できない場合は，財務部財務企画課資金管理班 （電話：095-819-2060/email: sikin@ml.nagasaki-u.ac.jp）まで問い合わせること。 （注意）E-支払いサービスでは，支払い後のキャンセルはできない。クレジットカードで支払った場合は，申し込み完了と同時に支払いが完了する。 **《 出願に際しての留意事項 》** 検定料が振り込まれていない場合，支払いを証明する収納証明書やご利用明細票等が貼付または添えられていない場合は出願を受理しない。 検定料を最終日に振り込む場合は，その後，当日17:00までに出願書類一式を提出（郵送の場合には当日までに必着）しなければならないので注意すること。 既納の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しない。 検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には，振り込んだ者の申し出により，当該検定料相当額は返還する。 返還にかかる手数料は，原則，入学志願者本人の負担とする。 なお，返還の申し出は，出願期間の最終日から 14 日以内とする。 〔返還に関する問い合わせ先〕 長崎大学財務部財務企画課資金管理班（TEL 095-819-2060/email: sikin@ml.nagasaki-u.ac.jp） ※ 日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要である。
その他	日本語または英語以外の言語で記載されている書類には，日本語または英語の翻訳文を添付すること。すでに出願資格審査で提出した書類は再度提出する必要はありません。

6. 出願に関する注意事項

(1) 出願手続後の提出書類の内容変更は原則認めない。
(2) 受理した出願書類は，返還しない。
(3) 入学試験についての問い合わせは，メールもしくは郵便により行うこと。郵便で照会する場合は，返信先を明記し，所要の切手を貼った返信用封筒を必ず同封すること。なお，電話による問い合わせには応じない。（ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：seisan_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp）

7. 選抜方法

(1) 試験日時（次の期間のうち研究科が指定する日時）

- ○ **夏期募集** ： 令和7年 7 月 4 日（金）から令和7年 7 月10日（木）まで
- ○ **秋期募集** ： 令和7年10月20日（月）から令和7年10月24日（金）まで
- ○ **冬期募集** ： 令和8年 1 月21日（水）から令和8年 1 月27日（火）まで

(2) 試験場

長崎大学情報データ科学部，工学部，環境科学部，水産学部

〒852-8521　長崎市文教町1番14号

(3) 試験科目・配点

入試区分	試験科目	配点	配点合計
一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	口述試験	100	200
	面接	100	

※ 水環境科学コースでは，全ての試験科目において英語で出題し，英語での解答を求める。

(4) 合否判定基準

総得点が配点合計の50%以上の得点者を合格者の対象とする。ただし，面接試験の成績が著しく悪い場合には，口述試験の成績の結果に関わらず不合格とすることがある。

なお，口述試験及び面接は次の評価内容で評価する。

(評価方法)

面接及び口述試験は，複数の面接員による個人面接形式で行う。

出願書類を参考にして試問を行い，志望動機，修士修了レベルの基礎知識・学力及び研究計画等を総合的に評価する。

(5) インターネットを利用した入試

インターネットを利用した面接及び口述試験を希望する場合は，予め，指導予定教員へ相談し，十分に打合せを行うこと。

8. 受験上の注意事項

(1) 受験者は，本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。

(2) 試験開始20分前までに，所定の集合場所に入室すること。
(試験開始後の遅刻者は受験を認めない。)

(3) 携帯電話等は，試験室に入る前に電源を切っておくこと。

(4) 気象状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。試験当日に台風等の自然災害が発生した場合は，試験日を延期することがある。

(5) 原則として追試験は実施しないが，やむを得ない事由と認められた場合は，実施する場合がある。また，不測の事態が生じた場合，再試験を実施することがある。

9. 合格者発表

○ 夏期募集 ： 令和7年 8 月 6 日（水）10:00（日本時間）

○ 秋期募集 ： 令和7年11月19日（水）10:00（日本時間）

○ 冬期募集 ： 令和8年 2 月18日（水）10:00（日本時間）

※ 長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページに合格者を掲　載するとともに，合格者に対し合格通知書を発送する。

「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「合格発表」

（アドレス：https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/goukaku）

※ 電話による合否の問い合わせには一切応じない。

10. 入学手続等

合格した者は，次により入学手続を行うこと。

(1) 手続期間

令和8年2月26日（木）～令和8年3月5日（木）〔受付時間 9:00～17:00〕

（ただし，土日祝祭日を除く）

(2) 納付金の納入

・入学料 ・・・・・ 282,000 円

(注) 既納の入学料は返還しない。

〔参考〕

① 令和 7 年度授業料（年額）：535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）

② 授業料の納入時期は，前期分 4 月，後期分 10 月になる。

③ 在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用される。

④ 入学料及び授業料については，免除又は徴収猶予の制度がある。（詳細は，入学手続関係書類に同封する。）

⑤ 合格者のうち，日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は，入学料及び授業料は不要である。

11. 個人情報の取扱

(1) 出願書類により取得された個人情報は，入学者選抜業務のために利用する。また，合格者の個人情報は入学手続案内業務のため，入学者の個人情報は，学籍登録業務のために利用する。

(2) 入学試験の成績及びその他の個人情報は，入学料免除及び授業料免除並びに各種奨学金の選考資料並びに教務関係業務に利用する。

(3) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は，入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。

(4) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は，「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き，以上の目的以外で利用すること又は第三者に提供することはない。

12. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で，受験上及び修学上の配慮を必要とする者は，夏期募集は令和 7 年 5 月 14 日（水）までに，秋期募集は令和 7 年 8 月 14 日（木）までに，冬期募集は令和 7 年 11 月 26 日（水）までに，下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え，長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係と相談すること。

なお，入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。

また，必要な場合は，本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身大学関係者等との面談等を行うこともある。

また，事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

○ 申請書の記載内容

(1) 入試の区分，志望コース(分野・系)

(2) 障がいの種類・程度

(3) 受験上の配慮を希望する事項

(4) 修学上の配慮を希望する事項

(5) 出身大学等でとられていた配慮

(6) 日常生活の状態

(7) 志願者の郵便番号・住所・氏名・連絡先電話番号（FAX 番号）

☆本学では，長崎大学障がい学生支援室を設置して，障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っている。

13. 安全保障輸出管理について

本学は，外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう，「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより，希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。なお，詳細については各コース（分野）まで問い合わせること。

14. その他

長期履修制度

長期履修制度とは，職業を有している等の事情により修学困難な者に対して，標準修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間に，計画的な教育課程の履修を認めるものである。本研究科では，最長 6 年までの在学期間を認めている。

入学時に許可されれば，通常の修業年限（3 年）において支払う授業料の総額を，長期履修期間として認められた期間に学期毎に均等分して支払うことになる。

長期履修を申し出ることができる者は，次のいずれかに該当する者で，標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものである。

[1] 職業を有し，就業している者
[2] 家事，育児，介護等に従事している者
[3] 障がいのある者
[4] その他相当の事由があると認められる者

長期履修制度の利用を希望する場合は，事前に指導予定教員と相談すること。

博士後期課程

令和８年４月入学

（夏期募集・秋期募集・冬期募集）

進　学　者　選　考

1. 募集人員

専　攻	コース／分野	募集人員		
		夏期募集	秋期募集	冬期募集
総合生産科学専攻	共生システム科学コース／環境海洋資源学分野	20 人	13 人	10 人
	共生システム科学コース／化学・物質科学分野			
	共生システム科学コース／工学・情報データ科学分野			
	海洋未来科学コース			
	水環境科学コース			

(注) 上記募集人員には，一般入試・社会人入試・外国人留学生入試の募集人員を含む。
(注) 募集合格者数の合計人数が募集人員に満たなかった場合は，その満たなかった人員を次期募集に加えて選抜する。

2. 出願資格

本学大学院博士前期課程又は修士課程を令和８年３月修了予定で，本課程に進学を志望する者。

3. 出願期間

○ 夏期募集 ： 令和７年 ６月 ２ 日（月）から令和７年 ６ 月 ６ 日（金）まで
○ 秋期募集 ： 令和７年 ９月16日（火）から令和７年 ９ 月22日（月）まで
○ 冬期募集 ： 令和７年 12月18日（木）から令和７年12月24日（水）まで

(1) 郵送する場合は必ず書留速達とし，所定の期日までに必着のこと。
郵送先　〒852－8521　長崎市文教町１番14号
長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係
(2) 出願書類等を持参する場合は，９時から17時まで受け付ける。（土日祝日を除く）

4. 出願手続

志願者は，以下の手続書類等を，所定の期日までに長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係へ提出すること。
※ 本研究科所定の様式は，長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページからダウンロードすること。
「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「募集要項」
（アドレス：https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/boshuyoukou）

手続書類等	備考
進学願書〔様式３〕	本研究科所定の様式 ※ 予め主たる指導を希望する教員（「教員・研究内容一覧」参照）と面談を行ったうえ，進学願書に指導予定教員名を記入すること。
写真票・受験票〔様式４〕	本研究科所定の写真票及び受験票に，出願前３ヶ月以内に撮影した写真（正面・上半身無帽　縦４㎝×横３㎝）を貼付すること。
修了見込証明書（研究科）	学長（または研究科長）が証明したもの
成績証明書（研究科）	研究科長が証明したもの
研究（業務）経過報告書〔様式７〕	本研究科所定の様式に，博士前期課程又は修士課程における研究の経過について記入すること。
研究計画の概要〔様式９〕	本研究科所定の様式に，研究（希望）計画の概要を記入すること。
受験票返送用封筒 〔長形３号（12㎝×23.5㎝）〕	志願者の郵便番号，住所，氏名を明記し，速達便の410円分の切手を貼付すること。 〔長形３号（12㎝×23.5㎝）〕
在留資格を証明するもの（写）（外国人志願者のみ）	在留カード又は旅券（入国査証（VISA）の確認ができる部分）の写しを提出すること。

※本学の博士前期課程から引き続き進学する場合，検定料は不要のため振り込みを行わないこと。

5. 出願に関する注意事項

(1) 出願手続後の提出書類の内容変更は原則認めない。
(2) 受理した出願書類は，返還しない。
(3) 入学試験についての問い合わせは，メールもしくは郵便により行うこと。郵便で照会する場合は，返信先を明記し，所要の切手を貼った返信用封筒を必ず同封すること。なお，電話による問い合わせには応じない。（ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：seisan_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp）

6. 選考方法

(1) 試験日時（次の期間のうち研究科が指定する日時）

- ○ **夏期募集** ： 令和7年 7 月 4 日（金）から令和7年 7 月10日（木）まで
- ○ **秋期募集** ： 令和7年10月20日（月）から令和7年10月24日（金）まで
- ○ **冬期募集** ： 令和8年 1 月21日（水）から令和8年 1 月27日（火）まで

(2) 試験場

長崎大学大学院総合生産科学研究科　〒852-8521　長崎市文教町1番14号

(3) 試験科目・配点

試験科目	配点	配点合計
口述試験	100	200
面接	100	

※ 水環境科学コースでは，全ての試験科目において英語で出題し，英語での解答を求める。

(4) 合否判定基準

総得点が配点合計の50%以上の得点者を合格者の対象とする。ただし，面接試験の評価が著しく低い場合には，口述試験の成績の結果に関わらず，不合格とすることがある。

なお，面接及び口述試験は次の方法で評価する。

(評価方法)

複数の面接官による個人面接形式で行う。

出願書類を参考にして試問を行い，志望動機，修士修了レベルの基礎知識・学力及び研究計画等を総合的に評価する。

(5) インターネットを利用した入試

留学で日本にいない等の場合で，インターネットを利用した面接及び口述試験を希望する場合は，予め，指導予定教員へ相談し，十分に打合せを行うこと。

7. 受験上の注意事項

(1) 受験者は，本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。
(2) 試験開始20分前までに，所定の集合場所に入室すること。
(試験開始後の遅刻者は受験を認めない。)
(3) 携帯電話等は，試験室に入る前に電源を切っておくこと。
(4) 気象状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。試験当日に台風等の自然災害が発生した場合は，試験日を延期することがある。
(5) 原則として追試験は実施しないが，やむを得ない事由と認められた場合は，実施する場合がある。また，不測の事態が生じた場合，再試験を実施することがある。

8. 合格者発表

- ○ **夏期募集 ： 令和7年 8 月 6 日（水）10:00（日本時間）**
- ○ **秋期募集 ： 令和7年11月19日（水）10:00（日本時間）**
- ○ **冬期募集 ： 令和8年 2 月18日（水）10:00（日本時間）**

※ 長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページに合格者を掲載するとともに，合格者に対し合格通知書を発送する。
「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「合格発表」
（アドレス：https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/goukaku）

※ 電話による合否の問い合わせには一切応じない。

9. 進学手続等

合格した者は，次により進学手続を行うこと。詳細については，合格通知書に同封する。

【手続期間】

令和８年２月 26 日（木）～令和８年３月５日（木）〔受付時間 9:00～17:00〕

（ただし，土日祝祭日を除く）

〔参考〕

① 令和７年度授業料（年額）：535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）

② 授業料の納入時期は，前期分４月，後期分 10 月になる。

③ 在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用される。

④ 授業料については，免除又は徴収猶予の制度がある。（詳細は，進学手続関係書類に同封する。）

※本学の博士前期課程から引き続き進学する場合，入学料は不要のため振り込みを行わないこと。

10. 個人情報の取扱

(1) 出願書類により取得された個人情報は，進学者選考業務のために利用する。また，合格者の個人情報は進学手続案内業務のため，進学者の個人情報は，学籍登録業務のために利用する。

(2) 進学者選考の成績及びその他の個人情報は，入学料免除及び授業料免除並びに各種奨学金の選考資料並びに教務関係業務に利用する。

(3) 出願書類により取得された個人情報及び進学者選考により取得された個人情報は，進学者選考に関する統計調査・研究に利用する。

(4) 出願書類により取得された個人情報及び進学者選考により取得された個人情報は，「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き，以上の目的以外で利用すること又は第三者に提供することはない。

11. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で，受験上及び修学上の配慮を必要とする者は，夏期募集は令和７年５月 14 日（水）までに，秋期募集は令和７年８月 14 日（木）までに，冬期募集は令和７年 11 月 26 日（水）までに，下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え，長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係と相談すること。なお，入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。また，必要な場合は，本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談等を行うこともある。

また，事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

○ 申請書の記載内容

(1) 入試の区分，志望コース
(2) 障がいの種類・程度
(3) 受験上の配慮を希望する事項
(4) 修学上の配慮を希望する事項
(5) 博士前期課程又は修士課程でとられている配慮
(6) 日常生活の状態
(7) 志願者の住所・氏名・連絡先電話番号（FAX 番号）

☆本学では，長崎大学障がい学生支援室を設置して，障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っている。

12. 安全保障輸出管理について

本学は，外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう，「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより，希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。

なお，詳細については各専攻まで問い合わせること。

13. その他

長期履修制度

長期履修制度とは，職業を有している等の事情により修学困難な者に対して，標準修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間に，計画的な教育課程の履修を認めるものである。本研究科では，最長 6 年までの在学期間を認めている。

入学時に許可されれば，通常の修業年限（3 年）において支払う授業料の総額を，長期履修期間として認められた期間に学期毎に均等分して支払うことになる。

長期履修を申し出ることができる者は，次のいずれかに該当する者で，標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものである。

[1] 職業を有し，就業している者
[2] 家事，育児，介護等に従事している者
[3] 障がいのある者
[4] その他相当の事由があると認められる者

長期履修制度の利用を希望する場合は，事前に指導予定教員と相談すること。

総合生産科学研究科博士後期課程　教員一覧

教員名に下線のある教員は，他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため，他のコース・分野のページも確認し，志願するコース・分野・系を選択すること。

コース・分野		担当教員	研究題目・研究テーマ等
共生システム科学コース	環境海洋資源学分野	安武　敦子	住環境のデザインおよびマネジメント手法に関する研究
		山口　浩平	高品質なインフラ構造物の維持修繕技術の開発とその社会実装に向けた診断技術の開発に関する研究
		朝倉　宏	リサイクル技術開発，マイクロプラスチック分析，最終処分場の早期安定化技術開発
		馬越　孝道	雲仙火山の地震活動　地熱資源の活用
		遠藤　愛子	水・エネルギー・食料ネクサス，沿岸海洋政策，学際研究
		岡田　二郎	無脊椎動物における感覚と行動の神経機構　無脊椎動物の行動に対する環境化学物質の影響
		片山　健介	人口減少局面における国土・地域・都市計画論　自治体の広域行政・広域連携　EUにおける空間計画制度変容の分析
		河本　和明	エアロゾル・雲・降水の相互作用　人工衛星データを用いた雲観測
		五島　聖子	都市緑地のデザイン　海外における日本庭園の歴史と役割　日本庭園の鑑賞による心理効果
		白川　誠司	デザイン型有機分子触媒を用いた環境調和型精密有機合成反応の開発
		高尾　雄二	環境中の微量有害有機化合物の分析と動態解析
		長江　真樹	ヒト医薬品が魚類の行動および繁殖機能に及ぼす影響解析　越境大気汚染物質の生物毒性評価に関する研究
		中川　啓	地下環境中における環境負荷物質の動態解析　地下水・土壌汚染の修復に関する研究 水文地球化学
		仲山　英樹	環境汚染物質の有用物質への再資源化に資する生物機能の解明とその応用
		西山　雅也	土壌圏における生物化学反応と微生物生態の解析・制御・利用
		山口　典之	主に渡り鳥を対象とした移動生態研究
		渡邊　貴史	緑地・ランドスケープの構造と機能　緑地・ランドスケープの保全・再生政策
		池盛　文数	大気エアロゾルに含まれる有機物の観測と生成・起源解析への適用
		大田　真彦	発展途上国・先進国双方における森林政策・林業経済，自然資源管理，農村生業，コミュニティ開発，および持続可能な開発のための教育（ESD）
		利部　慎	水循環と人間活動の相互作用に関する科学的評価，地下水年齢の推定，同位体水文学
		小山　光彦	廃棄物バイオマスを有価物に資源化する微生物プロセスの高効率化とメカニズム解明に関する研究
		関　陽子	環境哲学，環境倫理学　哲学的人間学の探究　自然と人間との共生にむけた倫理学の構築
		昔　宣希	カーボンプライシング・炭素市場連携に関する研究
		高巣　裕之	陸域からの物質流入が海洋環境に及ぼす影響の評価
		竹下　貴之	エネルギーのベストミックスに関するモデル分析，クリーンエネルギー技術の可能性評価
		中山　智喜	大気中の微量気体成分や微小粒子（PM2.5等）の動態・特性の室内実験および観測研究
		服部　充	生物間相互作用を対象とした進化生態学　生物間相互作用が生物多様性に与える影響に関する研究
		濱崎　宏則	【水資源・水環境の政策およびガバナンスの分析】 水管理に関する政策，多様なステークホルダーによる意思決定・合意形成やプラットフォームのあり方，水管理における住民参加，持続可能な水利用のためのガバナンスの探求

総合生産科学研究科博士後期課程　教員一覧

教員名に下線のある教員は，他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため，他のコース・分野のページも確認し，志願するコース・分野・系を選択すること。

コース・分野		担当教員	研究題目・研究テーマ等
共生システム科学コース	環境海洋資源学分野	深見　聡	持続可能な観光　生物文化多様性　島嶼観光　エコツーリズム　ジオパーク　世界遺産　地理教育・環境教育論
		山口　真弘	地球温暖化や大気汚染が植物に及ぼす影響の評価
		吉田　護	災害リスク管理，災害リスクガバナンス，地域減災計画
		久保　隆	有害化学物質による環境リスク評価
		天野　雅男	海棲哺乳類の生態，系統分類に関する研究
		井上　徹志	魚介類の腸内共生微生物の研究　微生物の有効利用に関する研究
		桑野　和可	磯焼けの原因に関する研究　海藻の凍結保存に関する研究　海藻の増殖・成熟に関する研究
		阪倉　良孝	海産魚類の種苗生産，海産魚類の初期生活史
		サトイト　グレン	海産付着動物（特に二枚貝類）の付着・変態機構に関する研究　汚損生物の付着防止対策研究
		清水　健一	航海計器の適切な運用に関する研究，船内労働衛生環境に関する研究
		菅　向志郎	養殖魚介類の感染症に関する研究
		鈴木　利一	浮遊生物の生態学的研究　海洋の微生物食物連鎖に関する研究
		高谷　智裕	微細藻類の毒産生に関する研究　魚介毒の同定及び性状解明
		谷山　茂人	水産物の食品栄養学的研究
		松下　吉樹	水産資源の持続的利用のための漁業技術，採集技術に関する研究
		山口　敦子	魚類の分類，分布・移動・回遊および生活史，再生産機構，生態系の構造と機能に関する研究
		山口　健一	水生生物のタンパク質合成系に関する研究　海洋起源の機能性高分子物質に関する研究
		和田　実	水圏微生物の生態に関する研究
		河端　雄毅	動物の対捕食者行動に関する研究，海洋生物における捕食−被食行動の相互作用に関する研究
		金　禧珍	動物プランクトンの生理生態学的研究・海洋汚染に関する研究
		近藤　能子	海洋における鉄など微量金属元素の循環に関する生物地球化学的研究
		滝川　哲太郎	海水や大気の運動，海の流れや水温の変化などの物理現象，海洋物理環境と生態系の関係

総合生産科学研究科博士後期課程　教員一覧

教員名に下線のある教員は，他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため，他のコース・分野のページも確認し，志願するコース・分野・系を選択すること。

コース・分野		担当教員	研究題目・研究テーマ等
共生システム科学コース	環境海洋資源学分野	竹内　清治	潮間帯～潮下帯の砂底に生息する底生動物の個体群・群集動態に関する研究
		竹垣　毅	魚類や頭足類の進化・行動生態学研究
		田中　雄大	海洋の熱，塩分，栄養塩等の分布，動態に関する研究
		濱田　友貴	魚介類アレルゲンに関する研究、水産物の加工及び安全性に関する研究
		広瀬　美由紀	水産音響，魚類および動物プランクトンの分布・行動の音響観測
		八木　光晴	船舶運用に関する研究　マイクロプラスチックに関する研究
		吉田　朝美	魚介類プロテアーゼの構造・機能，並びに水産食品分野への応用に関する研究
		王　曜	水産物の食品科学と組織学的研究
		上野　幹憲	海洋生物由来生理活性物質に関する研究，海産魚培養細胞に関する研究
		大庭　伸也	昆虫を対象とした行動生態学的研究　希少な水生昆虫に関する保全生態学的研究　島嶼の生物多様性に関する研究

総合生産科学研究科博士後期課程　教員一覧

教員名に下線のある教員は，他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため，他のコース・分野のページも確認し，志願するコース・分野・系を選択すること。

コース・分野	担当教員	研究題目・研究テーマ等
	木村　正成	高効率有機合成反応の開発と機能性物質の革新的合成
	作田　絵里	光機能性化合物の創出と応用
	中谷　久之	高分子の劣化・生分解化
	兵頭　健生	機能性セラミックス材料の設計と応用
	村上　裕人	機能性ポリウレタンエラストマーおよび易剥離可能な粘着剤の設計・開発
	森口　勇	ナノ構造制御による蓄電デバイス材料の開発
	森村　隆夫	熱電エネルギー変換材料の開発と構造解析
	赤嶺　大志	形状記憶合金，機能性金属材料に関する研究
	有川　康弘	遷移金属錯体による小分子の活性化
	上田　太郎	反応界面制御によるガス検知機能の高度化
	瓜田　幸幾	ナノ空間の特異現象解明
	海野　英昭	タンパク質の構造機能解析
	大貝　猛	電析法を利用した機能性金属材料の創製
	小野寺　玄	遷移金属錯体を用いた触媒的有機合成反応の開発
	鎌田　海	低次元セラミックスの生化学的応用
	Dao Thi Ngoc Anh	ナノテクノロジー応用における生体高分子の研究開発
	田原　弘宣	機能性イオン液体の開発
	Bun Chan	スーパーコンピューター上での量子力学的手法によるデータ基盤化学
	福田　勉	生理活性物質の合成手法の開発
	山田　博俊	固体界面における電気化学的現象の解明
	本九町　卓	廃棄プラスチックの資源循環
	白川　誠司	デザイン型有機分子触媒を用いた環境調和型有機合成反応の開発
	能登原　展穂	ナノ構造電極材料の開発
	林　幹大	水素結合型分子結晶の創製と物理的・化学的性質の探索
	本九町　卓	廃棄プラスチックの資源循環
	山本　将貴	金属材料における相変態の機構解明

総合生産科学研究科博士後期課程　教員一覧

教員名に下線のある教員は，他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため，他のコース・分野のページも確認し，志願するコース・分野・系を選択すること。

コース・分野		担当教員	研究題目・研究テーマ等
共生システム科学コース	工学・情報データ科学分野	植木　優夫	統計学，生物統計学の手法およびアルゴリズム開発。具体的には，医療統計，医療データ解析の方法論に関する研究
		尾崎　友哉	仮想と現実を融合させる空間コンピューティングに関する研究
		金谷　一朗	世界遺産の計測・メディアアートの制作などを通した，人間と人工物の理想的な関係を求める研究
		喜安　千弥	3次元計測，医用画像処理，リモートセンシング画像分類などのパターン情報処理に関する研究
		柴田　裕一郎	リコンフィギャラブルコンピューティング，量子誤り訂正など，次世代のコンピュータアーキテクチャに関する研究
		高田　英明	3D映像音響を中心とした高臨場感メディアやコミュニケーションメディアに関する研究
		宮本　道子	ITガバナンス，マーケティング・サイエンス，スポーツデータ・サイエンス，経営・社会科学分野での実証研究
		持田　恵一	網羅的なバイオデータから有用知見を探索・同定することを目的とした情報学的手法の開発に関する研究
		荒井　研一	暗号プロトコルの安全性評価に関する研究。具体的にはフォーマルメソッドを用いた暗号プロトコルの安全性検証など
		一藤　裕	人流の推定や行動のモデル化に関する研究。観光客の行動分析や人流制御方法の検討，観光政策支援など
		伊藤　宗平	形式手法によるソフトウェア検証，プロセスマイニング，理論計算機科学
		梅津　佑太	数理統計・機械学習の基礎理論やアルゴリズムの開発およびその応用
		神山　剛	スマートシティ実現に向けたモバイル機器を活用した都市の情報センシングと応用，スマートモビリティに関する研究
		酒井　智弥	パターン認識と機械学習のための数理モデリングと最適化。医用画像，生体信号，物流データ等への応用
		瀬戸崎　典夫	バーチャルリアリティ（VR）の技術を活用した効果的な学習環境の開発と評価に関する研究
		原澤　隆一	計算代数，暗号理論
		藤村　誠	仮想現実感技術などを用いた医療支援システムに関する研究開発
		松本　拡高	バイオインフォマティクスに関する研究。具体的には疾患の遺伝子発現解析やそのための理論・アルゴリズムの開発など
		宮島　洋文	機械学習に関する研究。具体的には，データの安全性を考慮した機械学習のアルゴリズムに関する研究など

総合生産科学研究科博士後期課程　教員一覧

教員名に下線のある教員は，他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため，他のコース・分野のページも確認し，志願するコース・分野・系を選択すること。

コース・分野		担当教員	研究題目・研究テーマ等
共生システム科学コース	工学・情報データ科学分野	MUTHU SUBASH KAVITHA	ディープニューラルネットワークを用いた高次元データからの情報検索や，画像処理，ヘルスケアインテリジェンス，医用画像解析など
		眞邉　泰斗	リコンフィギャラブルコンピューティング、FPGA、リアルタイム画像処理、機械学習
		阿部　貴志	電気機器と電動機制御システムに関する研究
		石塚　洋一	パワー電子回路およびアナログ集積回路に関する研究
		榎波　康文	光通信用超高速光デバイスや量子センサ型細胞内観測の研究
		大島　多美子	プラズマプロセスを用いた機能性薄膜の創製に関する研究
		大嶺　聖	地盤の高度利用技術と地盤環境工学に関する研究
		奥松　俊博	橋梁構造物など社会資本維持管理に対応した計測技術の開発
		源城　かほり	建物の環境性能とバイオフィリックデザインに関する研究
		近藤　智恵子	環境負荷の小さい高性能ヒートポンプおよび冷却デバイスの開発
		才本　明秀	固体における破壊現象の予測と工学的応用
		坂口　大作	ターボ機械の多目的最適化に関する研究
		蒋　宇静	地盤防災と岩盤構造物の維持管理に関する研究
		田中　俊幸	電磁波を利用した非侵襲（非破壊）診断法に関する研究
		中野　正基	電子機器用磁性材料の開発
		中原　浩之	建築構造物の耐震設計と耐震補強
		中村　聖三	鋼構造物の設計および維持管理手法の合理化・高度化
		西川　貴文	社会基盤構造物のセンシング・モニタリング技術の高度化
		桃木　悟	冷媒の管内沸騰・蒸発熱伝達
		矢澤　孝哲	高機能材料の加工・計測
		安武　敦子	住環境のデザインおよびマネジメント手法に関する研究
		山口　朝彦	流体の熱物性値測定と熱物性予測式の開発
		石橋　知也	景観デザインおよび地域計画にかかわる実践的研究
		奥村　哲也	固体表面近傍における流体挙動に関する研究
		小山　敦弘	各種工業用材料の疲労特性評価，レーザー誘起超音波顕微システムの開発

総合生産科学研究科博士後期課程　教員一覧

教員名に下線のある教員は，他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため，他のコース・分野のページも確認し，志願するコース・分野・系を選択すること。

コース・分野		担当教員	研究題目・研究テーマ等
共生システム科学コース	工学・情報データ科学分野	佐々木　謙二	コンクリート構造物の高品質化・生産性向上に向けた材料・施工性能評価手法の高度化に関する研究
		杉本　知史	地盤構造物に関わる各種モニタリングと分析・力学的評価手法の開発
		鈴木　誠二	生態系を含めた水域の物質循環特性の解明および水環境管理保全手法の開発
		瀬戸　心太	人工衛星を用いた降水観測，防災への応用
		田中　良幸	生体運動制御メカニズムに基づく人間機械系に関する研究
		永井　弘人	航空宇宙機および大型構造物の複合領域設計解析に関する研究
		浜崎　真一	電力系統連系のための電力変換器システムの制御と応用
		藤島　友之	簡易避雷方式・接地抵抗測定およびオゾン生成とその応用に関する研究
		藤田　謙一	持続可能型浮体式洋上構造物の構造システムに関する研究
		藤本　孝文	高機能アンテナに関する研究
		古里　友宏	高電圧パルスパワーおよび放電プラズマ応用に関する研究
		松岡　悟志	有機・光エレクトロニクスデバイスに関する研究
		丸田　英徳	ディジタル信号処理にもとづく電源回路に関する研究
		森山　敏文	電磁波順/逆散乱問題とマイクロ波リモートセンシングの研究
		柳井　武志	磁性膜開発と応用
		山口　浩平	高品質なインフラ構造物の維持修繕技術の開発とその社会実装に向けた診断技術の開発に関する研究
		横井　裕一	回転機設計と非線形動力学応用に関する研究
		吉川　沙耶花	気候変動や土地利用変化による水文・環境への影響評価
		大坪　樹	精密生産技術に関する研究
		佐々木　壮一	機械学習に基づく流体機械のエネルギー変換に関する研究
		盛永　明啓	海洋ロボティクスに関する研究
		武藤　浩二	信号処理及び通信用アナログ電子回路の構成ならびに複素信号処理の理論と応用
		福山　隆雄	プラズマ中の非線形現象に関する物理研究
		今井　哲郎	ネットワーク科学に関する研究，およびAI/IoTを用いた産業応用に関する研究
		大友　佳嗣	数値解析を用いた電気機器の形状最適設計に関する研究
		Guan Chai Eu	ワイヤレス通信システムにおけるマイクロ波デバイス、アンテナ、反射板の研究開発
		大道　哲二	回転機制御に関する研究
		陳　逸鴻	建築構造体の性能検討と新しい接合工法の開発
		堤　公孝	音声信号処理、音響信号処理、空間音響

総合生産科学研究科博士後期課程　教員一覧

教員名に下線のある教員は，他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため，他のコース・分野のページも確認し，志願するコース・分野・系を選択すること。

コース	担当教員	研究題目・研究テーマ等
海洋未来科学コース	阿部　貴志	電気機器と電動機制御システムに関する研究
	内堀　洋	システムズエンジニアリングに基づく海洋無人システムの研究
	坂口　大作	ターボ機械の多目的最適化に関する研究
	田中　俊幸	電磁波を利用した非侵襲（非破壊）診断法に関する研究
	中谷　久之	高分子の劣化・生分解化
	中原　浩之	建築系連結浮体構造物の開発
	中村　聖三	鋼構造物の設計および維持管理手法の合理化・高度化
	海野　英昭	タンパク質の構造機能解析
	奥村　哲也	固体表面近傍における流体挙動に関する研究
	永井　弘人	海洋構造物の複合領域設計解析に関する研究
	福田　勉	生理活性物質の合成手法の開発
	藤島　友之	洋上に設置された電気電子機器の簡易避雷方式などに関する研究
	藤本　孝文	高機能アンテナに関する研究
	森山　敏文	電磁波順/逆散乱問題とマイクロ波リモートセンシングの研究
	横井　裕一	回転機設計，非線形動力学応用，波力発電に関する研究
	佐々木　壮一	機械学習に基づく流体機械のエネルギー変換に関する研究
	陳　逸鴻	建築構造体の性能検討と新しい接合工法の開発
	本九町　卓	廃棄プラスチックの資源循環
	河邊　玲	海洋動物をプラットフォームとした行動・環境計測手法の開発と応用　海洋環境変動に対する魚類の応答に関する研究
	征矢野　清	魚類の性成熟に関する生理学的・内分泌学的研究　魚類の生殖に及ぼす環境因子の影響解析　種苗生産及び養殖の技術開発
	ﾆｼﾊﾗ・ｸﾞﾚｺﾞﾘｰ・ﾅｵｷ	藻場生態系の保全と回復に関する研究・ブルーカーボンに関する研究
	平坂　勝也	水産物由来機能性栄養素に関する研究
	長阪　玲子	1.　魚類の代謝制御による養殖に関する研究 2.　生物の嗜好性に関する研究 3.　魚類の寿命決定因子の解明
	中村　乙水	魚類の行動生態・行動生理に関する研究
	村田　良介	水産生物の生殖機能におよぼす環境影響に関する研究
	BALU ALAGAR Venmathi Maran	魚類寄生虫の分類学と系統学；養殖における魚類寄生虫防除のための天然物の応用；クラゲ由来コラーゲンの特性解析とその生物多様性と生態学

総合生産科学研究科博士後期課程　教員一覧

教員名に下線のある教員は，他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため，他のコース・分野のページも確認し，志願するコース・分野・系を選択すること。

コース	担当教員	研究題目・研究テーマ等
水環境科学コース	板山　朋聡	生態工学技術とアクアインフォマティクスの発展途上国への応用
	蒋　宇静	地下亀裂性岩盤内の水理物質移行機構の解明
	中川　啓	地下環境中における環境負荷物質の動態解析　地下水・土壌汚染の修復に関する研究
	村上　裕人	水処理のための機能性高分子膜の開発
	鎌田　海	水処理のための低次元セラミックス
	鈴木　誠二	生態系を含めた水域の物質循環特性の解明および水環境管理保全手法の開発
	瀬戸　心太	水文シミュレーションに基づく水資源評価
	Dao Thi Ngoc Anh	水処理のためのナノテクノロジーを応用における生体高分子の研究開発
	藤岡　貴浩	分離膜を用いた水処理技術
	吉川　沙耶花	気候変動や土地利用変化による水文・環境への影響評価
	濱崎　宏則	【水資源・水環境の政策およびガバナンスの分析】 水管理に関する政策，多様なステークホルダーによる意思決定・合意形成やプラットフォームのあり方，水管理における住民参加，持続可能な水利用のためのガバナンスの探求
	CHANG Ying SHI	持続可能な水再生と資源回収のための膜分離

〔様式１〕
〔Form 1〕

２０２６年４月　入学
April, 2026 Enrollment

長崎大学大学院総合生産科学研究科博士後期課程
Doctoral Degree (3 Year Program), Graduate School of Integrated Science and Technology, Nagasaki University

入 学 願 書 〔 一般入試・社会人入試・外国人留学生入試 〕
Application Form〔General Examination / Examination for Those Currently Employed / Examination for International Students〕

受験番号 Admission No.	*

長 崎 大 学 長 殿
To the President of Nagasaki University

年 (Year)　月 (Month)　日 (Day)

貴大学大学院総合生産科学研究科博士後期課程に入学したいので，所定の書類及び検定料を添え出願します。
I wish to enroll for the Doctoral Degree (3 Year Program), Graduate School of Integrated Science and Technology, Nagasaki University and hereby enclose the prescribed documents and Entrance Examination Fee.

ふりがな
氏　名 (Name) ________________　性別 (Sex) ：男 (Male)・ 女 (Female)

生年月日 (Date of Birth) :　年 (Year)　月 (Month)　日 (Day) 生

志 望 専 攻 Applying Department	総合生産科学専攻 Department of Integrated Science and Technology	入 学 期 Time of Enrollment	４月入学 April Enrollment
志 望 コ ー ス/ 分野 Applying Program / Field (該当番号を〇で囲むこと) (Circle the relevant number)	共生システム科学コース ／ Program for Symbiotic Science and Technology ／ 1. 環境海洋資源学分野　1. Field of Environment and Marine Resource Science 2. 化学・物質科学分野　2. Field of Chemistry and Materials Science 3. 工学・情報データ科学分野　3. Field of Engineering and Information Data Science 4. 海洋未来科学コース　4. Program for Frontiers of Marine Science 5. 水環境科学コース　5. Program for Water and Environmental Science		
出 願 区 分 Application Category (該当番号を〇で囲むこと) (Circle the relevant number)	１．一般入試　1. General Examination ２．社会人入試　2. Examination for Those Currently Employed ３．外国人留学生入試　3. Examination for International Students		
出 願 資 格 Application Eligibility (該当番号を〇で囲むこと) (Circle the relevant number)	（1）・（2）・（3）・（4）・（5）・（6）・（7）・（8）		
国 籍 Nationality (外国人のみ記入) (International Students Only)		指導予定教員名 Prospective Supervisor	
現 住 所 Current Address	〒(Zip/Postal Code) Email:　TEL (　　)　－		
出身大学・学部 Graduate University / Department Undergraduate	国名（日本以外のみ記入）Country (Outside of Japan only): 大学 University: 学部 Department: 卒業年月 Graduation Date　年 (Year)　月 (Month)		
出 身 大 学 院 Name of Highest Previous or Current Institution (Graduate School) /Department	国名（日本以外のみ記入）Country (Outside of Japan only): 大学大学院 Graduate School: 研究科 Department / Division: 卒業・卒業見込・退学予定（飛び入学）年月　年　月 Graduation Date / Expected Graduation Date (Circle one)：　年 (Year)　月 (Month)		

記入上の注意： *欄は記入しないこと。Note: Do not fill in the box marked with an asterisk (*).

履　歴　事　項
Personal Records

	学　校　名 Name of the educational institutions	修学年限 Term of Study	入学・卒業年月 Date of Enrollment / Graduation	休学の有無（有・無） Experience of Leave of Absence (Yes/No) 休学期間（年　月） Period of Leave of Absence（Year month）	資　格 （学位） Qualification (Degree)
学 歴 Educational Background		年 Year(s)	入学・ Enrollment　年 Year　月 Month 卒業・ Graduation　年 Year　月 Month	（有・無）(Yes/No) 年 Year　月 Month	
		年 Year(s)	入学・ Enrollment　年 Year　月 Month 卒業・ Graduation　年 Year　月 Month	（有・無）(Yes/No) 年 Year　月 Month	
		年 Year(s)	入学・ Enrollment　年 Year　月 Month 卒業・ Graduation　年 Year　月 Month	（有・無）(Yes/No) 年 Year　月 Month	
		年 Year(s)	入学・ Enrollment　年 Year　月 Month 卒業・ Graduation　年 Year　月 Month	（有・無）(Yes/No) 年 Year　月 Month	
		年 Year(s)	入学・ Enrollment　年 Year　月 Month 年 Year　月 Month	（有・無）(Yes/No) 年 Year　月 Month	
		年 Year(s)	入学・ Enrollment　年 Year　月 Month 年 Year　月 Month	（有・無）(Yes/No) 年 Year　月 Month	

	勤　務　先（職名） Place of Employment (Job Title)	勤　務　期　間 Period of Employment				
職 歴 Employment History		年 Year(s)	From	年 Year　月 Month ～ To	年 Year	月 Month
		年 Year(s)	From	年 Year　月 Month ～ To	年 Year	月 Month
		年 Year(s)	From	年 Year　月 Month ～ To	年 Year	月 Month

	事　項 Details	年 Year　月 Month
表彰 Awards		
罰事項 Convictions		

上記のとおり相違ありません。

I hereby declare that the information I provide above is truthful and correct.　**年（Year）　月（Month）　日（Day）**

氏　名（自署）Name (Signature)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

記入上の注意　NOTES：

1．学歴は高等学校から記入すること。ただし，外国人留学生は小学校入学から記入すること。
Please provide the details of your entire educational background, including elementary school.

2．履歴事項欄の職歴，賞罰のないものは，「なし」と記入すること。
Please write "N/A" if you have no history of employment, awards or convictions.

3．入学後，履歴中に虚偽の記載事項が発見された場合には，入学を取り消すことがある。
The university reserves the right to terminate the enrollment in the event of discovering any false information in this document.

〔様式２〕

２０２６年４月　入学
April, 2026 Enrollment

長崎大学大学院総合生産科学研究科博士後期課程入学試験
Entrance Examinations of Doctoral Degree (3 Year Program), Graduate School of Integrated Science and Technology, Nagasaki University

写　真　票　（一般入試・社会人入試・外国人留学生入試）
Photo Card (General Examination / Examination for Those Currently Employed / Examination for International Students)

受験番号 Admission No.	*
氏　　名 Name	
志望専攻 Applying Department	総合生産科学専攻 Department of Integrated Science and Technology
志望コース/分野 Applying Program / Field	コース（Program）： 分野（Field）：
出願区分 Application Category	一般入試 ・ 社会人入試 ・ 外国人留学生入試 General Examination / Examination for Those Currently Employed / Examination for International Students

写　真
Photo (4 cm × 3 cm)

Upper body, no hat or cap full face view Taken within the last 3 months

Please write your name on the back.

―――――――――――――――― 切りはなさないこと ――――――――――――――――
DO NOT DETACH

２０２６年４月　入学
April, 2026 Enrollment

長崎大学大学院総合生産科学研究科博士後期課程入学試験
Entrance Examinations of Doctoral Degree (3 Year Program), Graduate School of Integrated Science and Technology, Nagasaki University

受　験　票　（一般入試・社会人入試・外国人留学生入試）
Admission Ticket (General / For those Currently Employed / For International Students)

受験番号 Admission No.	*
氏　　名 Name	
志望専攻 Application Department	総合生産科学専攻 Department of Integrated Science and Technology
志望コース/分野 Applying Program / Field	コース（Program）： 分　野（Field）：
出願区分 Application Category (Circle one)	一般入試 ・ 社会人入試 ・ 外国人留学生入試 General Examination / Examination for Those Currently Employed / Examination for International Students

写　真
Photo (4 cm × 3 cm)

Upper body, no hat or cap full face view Taken within the last 3 months

Please write your name on the back.

―――――――――――――――― 切りはなさないこと ――――――――――――――――
DO NOT DETACH

２０２６年４月　入学
April, 2026 Enrollment

長崎大学大学院総合生産科学研究科博士後期課程入学試験
Entrance Examinations of Doctoral Degree (3 Year Program), Graduate School of Integrated Science and Technology, Nagasaki University

検定料納付証明書貼付票　（一般入試・社会人入試・外国人留学生入試）
Payment Certificate for the Entrance Examination Fee (General / For Those Currently Employed / For International Students)

受験番号 Admission No.	*
氏　　名 Name	
志望専攻 Applying Department	総合生産科学専攻　Department of Integrated Science and Technology
志望コース/ 分　野 Applying Program / Field	コース（Program）： 分　野（Field）：
検定料納付証明書貼付欄 Payment Certificate for the Entrance Examination Fee 検定料納付の証明書になるものをこの枠内に貼り付けること。 Please attach a receipt or statement for paying the Entrance Examination Fee.	

記入上の注意：**「*」欄は記入しないこと。**Note: Do not fill in the box marked with an asterisk (*).

―――――――――――――――――――― 切りはなさないこと ――――――――――――――――――――
DO NOT DETACH

受験上の注意事項 **Notes on Examination**

(1) 受験者は，本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。
Applicants must bring the Admission Ticket issued by this graduate school on the day of the examination.

(2) 試験開始 20 分前までに，所定の集合場所に入室すること。（試験開始後の遅刻者は受験を認めない。）
Applicants must be at the designated rendezvous point 20 minutes before the examination starts.
（Latecomers will not be permitted to take the exam after it has started.）

(3) 携帯電話等は，試験室に入る前に電源を切っておくこと。
Turn off your mobile phones and other electronic devices before entering the examination room.

(4) 気象状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。試験当日に台風等の自然災害が発生した場合は，試験日を延期することがある。
Make arrangements to arrive at the university well in advance of the examination. Ensure you take into account the possibility of unforeseen events, such as severe weather, that may affect your arrival and/or participation in the examination. The examination date may be postponed in case of an unforeseen event, such as a natural disaster, on the examination day.

(5) 原則として追試験は実施しないが，やむを得ない事由と認められた場合は，実施する場合がある。
また，不測の事態が生じた場合，再試験を実施することがある。
As a rule, there will be no make-up examination. However, if there are uncontrollable circumstances and it is deemed appropriate, a make-up exam may be conducted. Furthermore, in the event of unforeseen circumstances, a postponed examination may be conducted as well.

―――――――――――――――――――― 切りはなさないこと ――――――――――――――――――――
DO NOT DETACH

〔様式３〕

令和８年４月　進学

長崎大学大学院総合生産科学研究科博士後期課程

進　学　願　書　〔 進学者選考 〕

受験番号	※

長　崎　大　学　長　　殿

貴大学大学院総合生産科学研究科博士後期課程に進学したいので，所定の書類を添え出願します。

年　　月　　日

ふりがな

氏　　名　　（性別）（ 男 ・ 女 ）

(生年月日)　（　　年　　月　　日生）

志　望　専　攻	総合生産科学専攻	進学期	令和８年４月進学
コース/分野	コース　　分野		
現　　住　　所	〒 Email:　　TEL（　　）　　－		
出身大学・学部	国名（日本以外のみ記入） 大学　　学部 年　　月　卒業		
所 属 大 学 院	年　　月　長崎大学大学院　　研究科 (修士課程・博士前期課程) 専攻　修了見込		
国　　籍 (外国人のみ記入)		指導予定教員名	

記入上の注意

１．※欄は記入しないこと。

履　　歴　　事　　項				
学歴	学　　校　　名	修学年限	入学・卒業年月	資　格（学位）
		年	入学　　年　月 卒業　　年　月	
		年	入学　　年　月 卒業　　年　月	
		年	入学　　年　月 卒業　　年　月	
		年	入学　　年　月 卒業　　年　月	
		年	入学　　年　月 　　年　月	
		年	入学　　年　月 　　年　月	
職歴	勤　務　先（職名）	勤　　務　　期　　間		
		年	年　月 ～　年　月	
		年	年　月 ～　年　月	
		年	年　月 ～　年　月	
賞罰	事　　項	年　　月		

上記のとおり相違ありません。

年　　月　　日

氏　　名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

記入上の注意

1．学歴は高等学校から記入すること。ただし，外国人留学生は小学校入学から記入すること。

2．履歴事項欄の職歴，賞罰のないものは，「なし」と記入すること。

3．進学後，履歴中に虚偽の記載事項が発見された場合には，進学を取り消すことがある。

〔様式４〕

令和８年４月　進学

長崎大学大学院総合生産科学研究科博士後期課程進学者選考

写　真　票

受 験 番 号	※		
氏　　名		性別	男・女
志 望 専 攻	総合生産科学専攻		
志望コース/分野	コース 分野		

写　真

（縦４㎝×横３㎝）

上半身無帽正面向きで３ヶ月以内に撮影したもの

写真の裏に氏名を記入すること

---------- 切りはなさないこと ----------

令和８年４月　進学

長崎大学大学院総合生産科学研究科博士後期課程進学者選考

受　験　票

受 験 番 号	※		
氏　　名		性別	男・女
志 望 専 攻	総合生産科学専攻		
志望コース/分野	コース 分野		

写　真

（縦４㎝×横３㎝）

上半身無帽正面向きで３ヶ月以内に撮影したもの

写真の裏に氏名を記入すること

---------- 切りはなさないこと ----------

---------- 切りはなさないこと ----------

受験上の注意事項

(1) 受験者は，本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。
(2) 試験開始 20 分前までに，所定の集合場所に入室すること。
(試験開始後の遅刻者は受験を認めない。)
(3) 携帯電話等は，試験室に入る前に電源を切っておくこと。
(4) 気象状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。試験当日に台風等の自然災害が発生した場合は，試験日を延期することがある。
(5) 原則として追試験は実施しないが，やむを得ない事由と認められた場合は，実施する場合がある。また，不測の事態が生じた場合，再試験を実施することがある。

---------- 切りはなさないこと ----------

〔様式５〕
〔Form 5〕

長崎大学大学院総合生産科学研究科博士後期課程
Doctoral Degree (3 Year Program), Graduate School of Integrated Science and Technology, Nagasaki University

入学試験出願資格認定申請書
Application for Preliminary Screening

長崎大学長　殿　　年（Year）　月（Month）　日（Day）
To the President of Nagasaki University

貴大学院総合生産科学研究科博士後期課程入学試験に出願を希望します。
つきましては，出願資格の認定を受けたいので，所定の書類を添えて申請します。
I hereby would like to apply to undertake the preliminary screening for the entrance examinations and I have attached the required documentation for admission to the Doctoral Degree (3 Year Program), Graduate School of Integrated Science and Technology, Nagasaki University.

ふりがな
氏　名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　性別（**Sex**）：男（**Male**）・女（**Female**）
Name (Print and Signature)

生年月日（Date of Birth）　年（Year）　月（Month）　日（Day）生

現　住　所 Current Address	〒(Zip/Post Code) Email: Tel（　　）　－
出身大学 Graduate University （大学・学部・学科） (Faculty/Department)	国名（日本以外のみ記入）Name of Country (Only if not Japan): 大学 University : : 学部/学科 Faculty/Department : : 卒業年月　Graduation Date :　年（Year）　月（Month）

国　籍 （外国人のみ記入） Nationality (International Students Only)		認定申請出願資格 Application Eligibility to be screened （認定申請する出願資格に○を付すこと） (Circle the relevant number)	（6）・（7）①・（7）②・（8）

職　歴（研究・開発の業務内容がわかるように記入すること。） Employment/working History (Do not skip any record of research-and-development working.)				備考（発令者等） Remarks (Employer/Supervisor)
自 from	年 Year	月 Month		
至 to	年 Year	月 Month		
自 from	年 Year	月 Month		
至 to	年 Year	月 Month		
自 from	年 Year	月 Month		
至 to	年 Year	月 Month		
自 from	年 Year	月 Month		
至 to	年 Year	月 Month		
自 from	年 Year	月 Month		
至 to	年 Year	月 Month		

学会及び社会における活動状況 Academic and Social Activities,				備　考 Remarks
自 from	年 Year	月 Month		
至 to	年 Year	月 Month		
自 from	年 Year	月 Month		
至 to	年 Year	月 Month		
自 from	年 Year	月 Month		
至 to	年 Year	月 Month		
自 from	年 Year	月 Month		
至 to	年 Year	月 Month		
自 from	年 Year	月 Month		
至 to	年 Year	月 Month		

（注）現在に至るまでの期間について記入すること。
NOTE: Make sure to include the latest information

〔様式６〕
〔Form 6〕

研　究　業　績　調　書

Research Achievement

氏　名 _____

Name

学術論文，研究報告，特許等の名称 Title of academic papers and books, research reports, patents, and international conferences	発行又は発表の年月日 Date of the publication / presentation	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称 Name of the academic journals, publishers, or international conferences	備考 Remarks （共著者又は共同発表者名） (Coauthors)

〔様式７〕
〔Form 7〕

No. 1

研 究 （ 業 務 ） 経 過 報 告 書

Research Progress Report

氏　名 _____

Name

(continue)

〔様式７〕
〔Form 7〕

No. 2

研 究 （ 業 務 ） 経 過 報 告 書

Research Progress Report

氏　名 _____

Name

〔様式８〕
〔Form 8〕

学 位 論 文 要 旨

Dissertation Contents (Summarize in 1,000 words)

氏 名 _____

Name

(Continue)

〔様式８〕
〔Form 8〕

学 位 論 文 要 旨

Dissertation Contents (summarize in 1,000 words)

氏 名 _____

Name

〔様式９〕
〔Form 9〕

研　究　計　画　の　概　要

Abstract of Your Research Plan

氏　名 _____

Name

〔様式 10〕

受 験 ・ 就 学 承 諾 書

長 崎 大 学 長　　殿

このたび,　　が貴大学院総合生産科学研究科博士後期課程を受験することを許可します。

なお，本人が貴大学院に入学した場合は，在職のまま在学することを認めます。

年　　月　　日

所属・職名

氏　　名　　印